

高校生のアイデアを実行することによる若者世代の後継者増と認知度向上

白石踊会

活動の目的

一昨年の島の盆を体験した男子高校生が白石踊に魅了され自らも後継者に名乗り出ると同時に、若者世代に広めるプランを大学のコンテストなどで発表するようになった。これを機に、若者世代への浸透力に欠ける現状を打開するために高校生のアイデアを我々大人たちがサポートしながら大きく育み、後継者の裾野を広げる活動を行なった。

活動の内容及び経過

(1) 笠岡市役所商工観光課サイトで白石踊会の活動を毎月広報

高校生が草稿を作成し、白石踊会で校閲したのちに笠岡市役所に掲載を依頼している。今回の練習日や白石踊ツアー、島の盆の様子も掲載。

(2) 白石踊ツアー・島のお盆へ参加する児童生徒の往復の船運賃補助

(3) 高校での白石踊講習会

白石中学校での講習は長年行ってきたが、島外の高校での講習会は初めて開催した。金光学園高校に会長と女性部長が出向き、高校生に教えた様子は、笠岡放送で紹介された。

(4) 高校生によるコンテストでのPR

高校生が自主的に白石踊をテーマにしたプランを作成して応募した。日本最大級のコンテストでは発表の様子が主催者のHPに掲載され、全国の高校生や先生方が閲覧するので宣伝効果が高い。また、メディアに取り上げられる機会も多いことも白石踊の認知度向上につながった。これらコンテストの最終選考会に出場する場合の旅費も補助した。

活動の成果・効果

白石踊の認知度を県内外で向上させることができたとともに、若い世代が定期講習会に来て白石踊に触れる機会を増やすことができた。

現在では高校生の他にも親に連れられて参加する小学生・中学生の姿も増えた。個々の成果は以下のとおりである。

(1) 笠岡市役所HPでの活動報告

(2) 白石踊ツアーへの若者の参加と熱気

島外から14人の高校生の参加があり、昔のお盆の熱気が戻ったような充実した白石踊ツアーになった。

(3) 金光学園高校での白石踊講習会

高校生は習得が早く、1回の講習でブラブラ踊りと月見踊りの2種類を伝えられた。若い世代が白石踊に触れるためには、高校へ出張して講習会を行なうことも有効だと感じた。

(4) 高校生によるコンテスト応募と実績

高校生の活躍で白石踊の認知度が向上したと言える。彼らの取り組みは岩波ジュニア新書にも掲載された。具体的な応募内容は次のとおりである。



① 2019地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」奨励賞

(福知山公立大学)

② 高校生ボランティア・アワード2019特別賞「マイナビ賞」

(風に立つライオン基金)

③ 岩波ジュニア新書「ボランティアをやりたい!高校生ボランティア・アワードに集まれ」に掲載

④ 地域マネジメントコンテスト岡山商工会議所会頭賞 (山陽学園大学)

⑤ 第23回ボランティア・スピリット・アワード文部科学大臣賞

(プルデンシャル生命等)

⑥ 第3回高校生ビジネスプランコンテスト奨励賞 (徳山大学)

⑦ 岡山イノベーションコンテスト2019 高校生の部大賞

(中国銀行・山陽新聞社)

⑧ 第5回現代ビジネスプラン・コンペ2019現ビズ賞 (兵庫大学)

⑨ 第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ審査員特別賞

(日本政策金融公庫)

⑩ 第5回高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム優秀賞

(岡山北西ロータリークラブ)

⑪ 第14回龍谷大学ビジネスアイデアコンテスト審査員賞

⑫ 地元再発見コンテスト優秀賞 (千葉商科大学)

⑬ スター☆ベンチャー誕生 岡山県採択事業者

(岡山県・岡山県産業振興財団)

⑭ 第2回クールジャパン高校生ストーリーコンテスト佳作

(クールジャパン官民連携プラットフォーム)

⑮ マイプロジェクトアワード2019全国Summit進出

(全国高校生マイプロジェクト実行委員会)

今後の課題と問題点

高校生としての活動が後輩に引き継がれ発展してゆくことが課題である。

● 代表者：河田裕善 ● 所在地：笠岡市白石島

● TEL：0865-68-3002 ● E-MAIL：tda.amano@gmail.com

● URL：http://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/30/18561.html

● 設立年：昭和3年回向団結成、戦後踊会と改称 ● メンバー数：450名